

著者紹介

飯田 弘之 (正会員)

将棋プロ棋士六段。1994年東京農工大学大学院博士後期課程修了。博士(工学)。リンブルグ大学客員研究員。科学技術振興事業団博士研究員。マーストリヒト大学客員教授等。現在、静岡大学情報学部助教。科学技術振興事業団さきがけ研究21。知の創造と進化の研究に従事。

五十嵐健夫 (正会員)

2000年東京大学大学院において博士号(工学)取得。2002年より現職。ユーザインタフェース、特に、インタラクティブコンピュータグラフィクスに関する研究に取り組んでいる。

池田 央

立教大学名誉教授。(株)教育測定研究所取締役。東京大学、イリノイ大学大学院卒業。Ph.D. 計量心理学・教育測定学専攻。著書「現代テスト理論」(朝倉書店)。日本教育工学会、行動計量学会、テスト学会各会員。

石畑 清 (正会員)

1974年東京大学理学部物理学科卒業。東京大学を経て、明治大学理工学部助教。言語を中心として、プログラミング全般に興味を持つ。

潮田 明

1983年東京大学理学部物理学科卒業。(株)富士通研究所入社。1986～88年MIT大学院にて磁気光学効果の研究。1988年M.Sc. 1991～94年カーネギー・メロン大学大学院にて統計自然言語処理の研究に従事。1995年ATR研究員。現在富士通研究所知能システム研究部長。自然言語処理およびナレッジマネジメントの研究に従事。Ph. D. (計算機科学)

尾家 祐二 (正会員)

九州工業大学情報工学部教授。同大情報科学センター長。1980年京都大学大学院工学研究科修了。佐世保高専電気工学科助手、助教授。九州工業大学情報工学部助教授。奈良先端科学技術大学院大学情報科学センター教授を経て、1997年より現職。工学博士。ネットワーク性能評価、高速ネットワークに関する研究に従事。著書「コンピュータ・ネットワーク」(共著、共立出版)。「インターネット入門」(共著、岩波書店)。IEEE、電子情報通信学会各会員。

大岩 元 (正会員)

1965年東京大学理学部物理学科卒業。1971年同大学院理学系研究科博士課程修了。理学博士。同大理学部助手、豊橋技術科学大学講師、同助教授。同教授を経て1992年慶應義塾大学環境情報学部教授。情報教育学、ソフトウェア工学、認知工学の研究に従事している。

大倉 清司

1997年東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻修士課程修了。主に機械翻訳、翻訳支援システムを研究。言語処理学会会員。

熊副 和美

通信・放送機構九州ガガビットリサーチセンター研究員。1995年九州工業大学大学院情報工学研究科修士課程修了。日本電気(株)を経て2000年より日本テレコムインフォメーションサービス(株)。2003年現職へ出向中。高速ネットワーク全般に関する研究に従事。電子情報通信学会会員。

作田 誠 (正会員)

石巻専修大学理工学部情報電子工学科講師。2001年静岡大学大学院理工学研究科博士後期課程修了。博士(工学)。ゲーム・パズルを題材とした探索・推論・学習などに興味を持つ。

佐々木宣介 (正会員)

1998年東北大学大学院情報科学研究科博士後期課程修了。1998～2000年静岡大学研究員。2000年より広島県立大学経営学部助手。人工知能、ゲームプログラミングの研究に従事。

清 慎一 (正会員)

1986年日本大学文理学部応用数学科卒業。同年(株)富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ入社。1988～93年(財)新世代コンピュータ技術開発機構(ICOT)出向。現在はネットワークセキュリティ業務に従事。

高橋 茂 (名誉会員)

職歴：1944年電気試験所に入る。1956年我が国最初のトランジスタ計算機ETL-Mk3開発。1962年日立製作所入社。1976年同社コンピュータ事業本部次長。1980年筑波大学教授。1986年東京工科大学教授。1996年同学長。1999年片柳学園理事(大学担当)。学歴：1944年慶應義塾大学・工・電卒業。1953年工学博士。本学会関係：1979～80年副会長。1988年功績賞受賞。1990年名誉会員。情報規格調査会顧問。歴史特別委員会委員長。

楯岡 孝道 (正会員)

1996年電気通信大学博士前期課程修了。1999年同大博士後期課程単位取得退学。2000年同大電気通信学部助手。博士(工学)。モバイルコンピュータネットワークおよびコンピュータネットワークに興味を持つ。

田中 哲朗 (正会員)

1965年生。1987年東京大学工学部計数工学科卒業。1992年同大学院博士課程修了。博士(工学)。東京大学工学部助手。同大教育用計算機センター助教授を経て、1999年より同大情報基盤センター助教授。

鶴 正人 (正会員)

九州工業大学情報工学部助教授。1985年京都大学大学院工学研究科修了。沖電気工業(株)、長崎大学総合情報処理センター助手、日本テレコムインフォメーションサービス(株)、通信・放送機構研究員を経て、2003年より現職。工学博士。インターネット計測に関する研究に従事。電子情報通信学会、日本ソフトウェア学会各会員。

鶴岡 慶雅 (正会員)

科学技術振興事業団戦略的基礎研究推進事業(CREST)研究員。1997年東京大学工学部電気工学科卒業。2002年同大学院博士課程修了。工学博士。自然言語処理に関する研究に従事。E-mail:tsuruoka@is.s.u-tokyo.ac.jp
<http://www.tsujii.is.s.u-tokyo.ac.jp/~tsuruoka/atlab.html>

土井美和子 (正会員)

1979年東京大学工学系修士課程修了。現在(株)東芝研究開発センター研究主幹。博士(工学)。入力デバイス、道案内などの研究開発に従事。総務省情報通信審議会委員、文部科学省科学技術・学術審議会専門委員、日本学術振興会総合研究連絡会議委員、慶應義塾大学非常勤講師などを務める。電子情報通信学会、HI学会、ACM各会員。

中村 貞吾 (正会員)

1984年九州大学大学院工学研究科電子工学専攻修士課程修了。1987年同大学院同研究科同専攻博士後期課程満期退学。同年九州大学工学部助手。1992年より九州工業大学情報工学部講師。自然言語処理、ゲームプログラミングの研究に従事。工学博士。人工知能学会、電子情報通信学会、Computer Go Forum各会員。

長井 歩 (正会員)

2002年東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻博士課程修了。理学博士。現在宇宙開発事業団に勤務。探索アルゴリズム、人工知能、ソフトウェア検証等に関する研究に従事。

野田五十樹 (正会員)

1992年京都大学大学院工学研究科電気工学第2専攻博士課程修了。同年通商産業省工業技術院電子技術総合研究所。2002年改組により、独立行政法人産業技術総合研究所サイバーアシスト研究センター主任研究員。博士(工学)。神経回路網によるシンボル・パターン統合処理、学習、マルチエージェントシステム、分散シミュレーションの研究に従事。人工知能学会会員。RoboCup Federation理事。

富士 秀 (正会員)

1987年英王立ロンドン大学工学部電気電子工学科卒業。1988年(株)富士通研究所入社。以来、機械翻訳、情報検索、翻訳評価手法、翻訳支援システムの研究に従事。言語処理学会会員。

前田 仁

昭和53年特許庁入庁。昭和57年審査第三部審査官。平成6年審判部審判官。平成8年審査第五部審査官(情報処理)。平成11年審査第五部上席総括審査官(記憶管理)。平成13年特許審査第四部審査監視官(インタフェース)。

松原 仁 (正会員)

1986年東京大学情報工学専攻博士課程修了。電総研(現産総研)を経て2000年から公立はこだて未来大学教授。コンピュータ将棋協会理事、コンピュータ囲碁フォーラム副会長。NPOロボカップ日本委員会会長などを務める。

森川 博之 (正会員)

1987年東京大学工学部電子工学科卒業。1992年同大学院博士課程修了。現在、東京大学大学院新領域創成科学研究科助教授。工学博士。コンピュータネットワーク、ユビキタスネットワーク、モバイルコンピュータ等の研究に従事。

矢野 直明

サイバーリテラシー研究所代表。編集者(ジャーナリスト)。朝日新聞出版局で「ASAHIパソコン」、「DOORS」などの雑誌を創刊。著書「インターネット術語集I、II」、「サイバーリテラシー」、「情報編集の技術」など。

山下 達雄 (正会員)

2000年奈良先端科学技術大学院大学卒業。現在、富士通研究所勤務。訳例検索システムの開発に従事。

湯浅 敬 (正会員)

東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。現在Hewlett-Packard Laboratoriesにてマルチメディア会議システムの研究に従事。

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、6月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。

まず、6月号の特集「グリッドコンピューティング」に対しまして、以下のご意見をお寄せいただきました。

■「ビジネスITインフラでのグリッドコンピューティング」を読んで、Gridサービスにより、コンピュータ資源がユーティリティ、すなわちガス水道の蛇口をひねるがごとく供給され、負荷変動する計算業務の不足リソースをグローバルに自動的に供給してくれる時代がくることを実感しました。その時代には、同時に休眠リソースを電力のように買い取ってくれるビジネス基盤が準備されれば地球資源の有効活用につながり画期的なことだと思います。電力はその減衰から遠方送電は難しいが、Grid仮想コンピュータなら、地球の裏側で夜寝ているリソースを、ネットを通じて昼間のビジネスに利用できるかもしれません。今後に期待いたします。(北村和彦)

■ビジネス分野でのグリッドの利用、Webサービスとの融合など、開発環境を含めて進みつつあると感じた。(匿名希望)

■「グリッドコンピューティング」はタイムリーな特集であり、大変参考になった。(橋本正道)

■「グリッドコンピューティング」特集の記事の中では、「PCグリッドの現在と展望」が、具体例が豊富であり分かりやすかった。(匿名希望)

■今月の特集記事である「グリッドコンピューティング」について、興味深く読ませていただいた。非常に多くの可能性を秘めているということに加えて、現実的には、個々のマシンの未使用時の低消費電力化のさらなる努力の必要性を感じた。技術的には、クラスタ技術はグリッド技術の一部という印象なのだが、両者に違いがあるのだとしたら、もう少し詳しく教えていただきたい。(宮永昭治)

■特集の「グリッドコンピューティング」は大変興味深く読ませていただいた。確かにPCクラスタとグリッドコンピューティングでは印象がまったく違う。研究でも名前が重要であることを痛感する好例である。通信の専門家でもグリッドというと興味を示している。ツールも出揃い始めているようであるが、これから爆発しそうな印象を持った。(匿名希望)

■著者には、忙しい時間を割いて記事を書いていただき大変感謝しています。ただ、記事の中に研究計画書そのもののような記事が多少見受けられる点が残念です。たとえば、「パイオグリッドプロジェクト」につきましては、もう少し研究の焦点を絞った具体的な記事にしていただければ、一般読者にはより近づきやすかったように思います。(匿名希望)

次に、6月号の事例記事に対しましては、以下のご意見をお寄せいただきました。

■「ソフトウェアの耐タンパー化技術」は興味深かったです。個々の事例についてもっと詳細に知りたいと思いました。

(匿名希望)

■「ソフトウェアの耐タンパー化技術」は、面白く読ませてもらいました。日頃まったく縁のない技術なのでただひたすら感心しました。今後もこのようなちょっと変わった(一般の人にはかかわらない)技術を紹介してもらえたらと思います。

(小野 勉)

■ソフトウェアの改ざん防止は、IT技術の普及に伴い、今後一層重要となる課題であり、時宣を得たテーマである。今後も適宜、事例を紹介して欲しい。(匿名希望)

また、6月号の解説記事に対しましては、以下のご意見をお寄せいただきました。

■「探しもの見つけます一情報化社会に役立つ情報検索の技術動向一」はタイトルとは裏腹に分かりづかったと思います。

(匿名希望)

■「探しもの見つけます一情報化社会に役立つ情報検索の技術動向一」における言語横断検索は、やはり、翻訳の成否確率に検索結果が依存してしまうのでしょうか？記事の内容は分かりやすくよかったです。全文検索で行う以外の用途での利用の方がよい気がします。カタカナ表記は、日本の言語習慣の中に根付いているので、いくらでも、応用可能領域があると思います。(小金沢雄一)

6月号の連載記事では、以下のご意見をお寄せいただきました。

■「XML誕生秘話：国際化」は、今までの中で一番面白みに欠けていたと思います。(匿名希望)

■「XML誕生秘話：国際化」と「日本の情報処理技術の足跡：電電公社のコンピュータ開発」を非常に興味深く読ませていただいた。現在でも参考になるもので、今後大きな示唆が隠れていることを物語る内容です。歴史的なものをすべて探り記述しておくことは将来に大きく役立つことであり、これを学ぶべき姿勢が大切でもあります。このような例として、コラム「キーボード文字配列：迷走とその反省」(2002年3月号)とその感想文などが挙げられましょう。(窪田衛二)

■「日本の情報処理技術の足跡：電電公社のコンピュータ開発」を読んで、日本のデータ通信技術の歴史を垣間見ることができ大変参考となりました。普段我々がさほど意識せずに利用するものすべてに、こうした歴史があるのでしょうか。DIPSマシンについては、よく耳にしていましたが実際このような歴史を見る機会はほとんどありませんでした。技術の育成や、開発作業、プロジェクト管理の標準化など現在も紙面をにぎわすキーワードもこうした背景を踏まえたものだとすることを再認識しました。(滝沢真幸)

6月号のコラム記事では、以下のご意見をお寄せいただきました。

■「ITルネサンスのために：ヒューマンインタフェースの復権を：真のニーズと思い込みニーズ再論」を読んで、モニタの成すべき仕事というものを再考させられました。結論は出ていません。モニタが何を成すべきか、どうすれば有効に活用されるかを、今後も考えつづけていこうと思います。(匿名希望)

■「ITルネサンスのために：ヒューマンインタフェースの復権を：真のニーズと思い込みニーズ再論」を読んで、前半分で会誌の編集について書かれていましたが、モニタの役割についてモニタ・製作者の間に意識のずれがあると感じました。私見に

なりますが、モニタとはその対象物を体験した結果、評価結果を回答し、製作者はその意見のもと、今後どうするか検討する資料を得ることにあると思います。後は、その資料をどう活用するかは製作者の問題だと思います。モニタが必要ないのであれば中止し、欲しい意見が集まらないのであれば制度や回答フォームを見直してみてもいいでしょうか。(匿名希望)

■「研究会たより」は毎月真っ先に読んでいたコラムでした。今回で最終回とは残念です。今後は分子コンピューティングをテーマにした連載を(お忙しいところですが)お願いいたします。(森谷俊洋)

■「研究会たより」が始まった当初は、縦書きはけしからんなどと思っておりましたが、いざ連載終了となると、一抹の寂しさを感じます。学会内部の事情は、伝わってくるようで伝わってきません。今後も、何らかのかたちで学会の内部事情を伝える記事を連載していただければ、と切に願っています。(水野光朗)

■萩谷先生のコラムはつまらないのでやめてください。話している内容が内部の話になりすぎていて、具体的な研究内容の話もしていない。このページに1ページ割くぐらいなら別のコラムを組んでほしい。(匿名希望)

■「アメリカITまわりの話題：ソフトウェア研究開発と国民性」を読んで、著者のような広く深い国際ビジネス活動経験もないし、ここで紹介されているG. Hofstede原著「Cultures and Organization: Software of the Mind」も読んでいないが、一言…4月号のp.375-383、松原友夫氏の解説記事「ソフトウェア産業にもデフレがやって来る」とも比較して今後検討すべき、興味深い観点が指摘されていると思う。ただし、両記事の思潮・視点は必ずしも整合していないよう…。自分としては、対象人物の国民性(出身文化圏の全体動向)よりも、グローバルなソフトウェア・サービス産業の中で活動する個人個人の個性・能力・性格・環境柔軟適合性の力の方が影響力大に思えるが…。(島崎誠彦)

■「アメリカITまわりの話題：ソフトウェア研究開発と国民性」を読んで、ソフトウェア開発は人間の思考がその大半を占めるので国民性と関連があると思いました。外国人と協同開発した経験から、さらにその国の文化も関係があると思いました。非常に興味のある記事でした。(中島豊四郎)

■「アメリカITまわりの話題：ソフトウェア研究開発と国民性」を読んで、ソフト開発をする大変さを理解することにより、安易にソフトをコピーする行為に歯止めがかかれば…とと思いました。(黒井 剛)

その他の記事に関して、以下のご意見をお寄せいただきました。

■「編集系独白」が面白く、読む記事を選ぶ際、参考にしています。(匿名希望)

今後取り上げてほしいテーマとして、以下のご要望をお寄せいただきました。

■最近話題のICタグについての解説記事をお願いします。(匿名希望)

■最新のセンサネットワークのコア技術やビジネスへの取り組みなど。(匿名希望)

■ネットワークの最新動向。特に無線技術の現状と実現時期などに興味を持っています。それにあわせて必要なソフトウェア技術のようなテーマで取り上げてもらえばいいですね。(小野 勉)

■ICカードの大容量化に向けた応用として、X線データなど医用情報の記録がありますが、医用IT化の最前線情報の掲載を期待いたします。(北村和彦)

■データベースの利用状況と、サードパーティプロダクト、メインフレームの利用状況などについて興味があり、記事を希望します。(金納 洋)

■デジタル放送とブロードバンドインターネット。(宮井 均)

■インドのコンピュータ事情について知りたいです。(山下明博)

■FPGA(Field Programmable Gate Array)の最近の技術動向と、これから実用化されていくと考えられる研究中の技術の動向について特集を組んで欲しいと考えています。純粋なFPGAデバイスだけではなく、FPGAの技術を利用した可変構造型のプロセッサについてもまとめて取り上げて欲しいです。(匿名希望)

今月はこのほかにも、数多くのご意見・ご感想をいただきましたが、スペースの都合で記事のすべてを掲載することができませんでした。これらのコメントはWWW版会員の広場「読者からの声」<URL:http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha/dokusha.html>に掲載していますので、そちらもご参照ください。

会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会ウェブページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

【本欄担当 永井保夫、小幡元樹/書評・ニュース分野】



ご意見をお寄せください!!

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
 - ・記事テーマの提案
 - ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
 - ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言
- など、自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については
<URL:http://www.ipsj.or.jp/katsudou/mag/michishirube.html>

でこれからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝を進呈いたします。掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

応募先 〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F
情報処理学会 会誌編集部門 E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)5484-3534
http://www.ipsj.or.jp/enq/enq4409.html



IPSJ カレンダー

行事名	開催日	会場
第 133 回知能と複雑系研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/ICS133.html	2003/9/14 (日) ~ 2003/9/16 (火)	韓国済州島 (済州大学校研修院)
東海支部 「第三回情報学連続公開セミナー 『情報化・国際化のアーカイブ』」 講演開催案内 http://www.takebay.net/O3infsemi.html	2003/9/17 (水)	静岡大学浜松キャンパス
第 46 回数理解モデル化と問題解決研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/MPS46.html	2003/9/18 (木) ~ 2003/9/19 (金)	広島市立大学
第 46 回数理解モデル化と問題解決研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/MPS46.html	2003/9/18 (木) ~ 2003/9/19 (金)	広島市立大学
第 91 回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/AL91.html	2003/9/19 (金)	広島市立大学
北陸支部 「平成 15 年度電気関係学会北陸支部連合大会」 http://jhes.pu-toyama.ac.jp/	2003/9/21 (日) ~ 2003/9/22 (月)	富山県立大学
第 26 回モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/MBL26.html	2003/9/25 (木) ~ 2003/9/26 (金)	広島市立大学
第 105 回ヒューマンインタフェース研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/HI105.html	2003/9/26 (金)	静岡大学浜松キャンパス
連続セミナー 2003 (第 3 回) コンテンツとサービス http://www.ipsj.or.jp/katsudou/seminar/seminar.html	2003/9/26 (金)	工学院大学
第 41 回デジタル・ドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/DD41.html	2003/9/26 (金)	情報処理学会会議室 (芝浦)
第 30 回分散システム / インターネット運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/DSM30.html	2003/9/26 (金)	福井大学
平成 15 年度電気関係学会九州支部連合大会 http://www.jceee-kyushu.jp/	2003/9/26 (金) ~ 2003/9/27 (土)	崇城大学 (熊本市)
第 85 回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/IS85.html	2003/9/27 (土)	新潟国際情報大学新潟中央 キャンパス
第 72 回情報学基礎・第 157 回自然言語処理 合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/FL72NL157.html	2003/9/29 (月) ~ 2003/9/30 (火)	産業技術総合研究所 サイバーアシスト研究センター
東海支部 平成 15 年度電気関係学会東海支部連合大会開催案内 http://www.ieice.org/tokai/rengo/	2003/10/2 (木) ~ 2003/10/3 (金)	名古屋大学
第 42 回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/AVM42.html	2003/10/3 (金)	金沢大学工学部
連続セミナー 2003 (第 4 回) ユビキタス空間ネットワーク http://www.ipsj.or.jp/katsudou/seminar/seminar.html	2003/10/7 (火)	工学院大学
第 9 回高品質インターネット研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/QAI9.html	2003/10/8 (水)	東京大学山上会館
第 96 回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/HPC96.html	2003/10/16 (木)	日本原子力研究所
第 71 回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/CE71.html	2003/10/17 (金)	長野大学
北海道支部 「平成 15 年度電気関係学会北海道支部連合大会」 開催案内 http://www.hokkaido.ieice.org/shibukai/	2003/10/18 (土) ~ 2003/10/19 (日)	北海学園大学工学部
第 49 回グループウェアとネットワークサービス研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/GN49.html	2003/10/23 (木) ~ 2003/10/24 (金)	徳島大学工学部
第 10 回 MPS シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/S-MPS2003.html	2003/10/23 (木) ~ 2003/10/24 (金)	同志社大学京田辺校地
第 60 回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/CH60.html	2003/10/24 (金)	大谷大学 (京都市)
東海支部 「ソフトウェアテストの体系と実践 ～基礎を踏まえた品質保証～」 講演会開催案内 http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/tokahome.html	2003/10/27 (月)	刈谷市産業振興センター (愛知県)
コンピュータセキュリティシンポジウム 2003 (CSS2003) http://css2003.is.env.kitakyu-u.ac.jp/	2003/10/29 (水) ~ 2003/10/31 (金)	北九州国際会議場
第 92 回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/AL92.html	2003/11/7 (金)	岐阜大学
東海支部 「先端技術フォーラム 2003 名古屋」 開催案内 http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/tokahome.html	2003/11/13 (木) ~ 2003/11/14 (金)	名古屋市工業研究所
連続セミナー 2003 (第 5 回) セキュアネット http://www.ipsj.or.jp/katsudou/seminar/seminar.html	2003/11/26 (水)	工学院大学
コンピュータシステム・シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/sig/os/cs2003/	2003/12/11 (木) ~ 2003/12/12 (金)	つくば国際会議場
連続セミナー 2003 (第 6 回) グリッドコンピューティング http://www.ipsj.or.jp/katsudou/seminar/seminar.html	2003/12/15 (月)	工学院大学
第 132 回データベースシステム・第 7 回放送コンピューティング 研究グループ 合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/DBS132BCCgr7.html	2004/1/15 (木) ~ 2003/1/16 (木)	白浜
第 66 回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/taikai/66taikai.html	2004/3/9 (火) ~ 2004/3/11 (木)	慶應義塾大学 (湘南藤沢キャンパス)

行事名	論文応募締切日	会場
第31回分散システム／インターネット運用技術研究発表会 (2003/11/26開催) 発表論文募集 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/DSM31.html	2003/9/19 (金)	北九州学術研究都市 学術情報センター
論文誌「オブジェクト指向とWeb技術」特集論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/toukou/tokushuu/se.pdf	2003/9/30 (火)	
2004年情報学シンポジウム (2004/1/15-16開催) 論文募集 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/S-FI2004.html	2003/10/7 (火)	日本学会会議講堂
論文誌「システムLSIの設計技術と設計自動化」特集論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/toukou/tokushuu/sldm.html	2003/10/15 (水)	
分散システム／インターネット運用技術シンポジウム 2004 (2004/1/22/-23開催) 論文募集 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/S-DSM2004.html	2003/10/20 (月)	麗澤大学広池学園記念講堂
平成15年度情報処理学会フェロー候補者推薦募集 http://www.ipsj.or.jp/gaiyo/fellow2003.htm	2003/11/7 (金)	
第10回高品質インターネット研究発表会 (2004/1/28開催) 発表論文募集 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/QAI10.html	2003/11/11 (火)	東京ファッションタウンビル
論文誌「プライバシーを保護するコンピュータセキュリティ技術」 特集論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/toukou/tokushuu/csec.html	2003/11/28 (金)	

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報 - What's New より -

■ 2003年8月21日

・バナー広告募集のお知らせ

■ 2003年8月15日

・電子図書館の論文誌 (ジャーナル) Vol.44 No.8 を登録いたしました。

■ 2003年8月4日

・研究会の新設提案は8月末締切です。

■ 2003年8月1日

・論文誌 (ジャーナル) 「テクニカルノート査読報告書」を改訂いたしました。
 ・論文誌 (ジャーナル) 「和文・英文論文査読報告書」を改訂いたしました。
 ・会告目次を更新しました
 ・平成15年度情報処理学会フェロー候補者推薦募集

■ 2003年7月29日

・第487回理事会報告

■ 2003年7月24日

・明日7/25 (金) 12:00よりサーバメンテナンスのため1時間程度Webがご利用できなくなります。どうぞご了承くださいませようお願い致します。

■ 2003年7月18日

・電子図書館の論文誌 (ジャーナル) Vol.44, No.7 を登録いたしました。

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へE-mail、Faxまたは郵送にてお申し込みください。
*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国公立研究機関 20,000円（+税）
賛助会員（企業） 30,000円（〆）
賛助会員以外の企業 50,000円（〆）

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係） E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax (03) 5484-3534
*人材募集広告は会誌と同時にオーム社発行月刊誌「コンピュータ&ネットワーク LAN」にも掲載されます（料金の追加はありません）。ただしオーム社側の掲載については字数などの関係から大幅に編集されることをご了承ください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■広島国際学院大学情報学部情報デザイン学科

募集人員 助教授、または講師 2名
専門分野 情報デザイン
担当科目 情報デザイン概論、色彩デザイン、コンピュータグラフィクス基礎、メディア表現、Web ページ作成など
応募資格 大学・大学院にてデザイン教育を受けた方、情報デザインに関する教育研究実績を有する方、またはデザインに関する実績のある方。着任時35歳以下であることが望ましい
着任時期 平成16年4月1日
提出書類 履歴書、教育研究業績書、主要作品（3点程度、Web サイトの場合はURLと分担部分を明記、CG作品も可能）または主要論文別刷（3編程度、コピー可）、「情報デザイン」に関する教育・研究に対する抱負（A4用紙、10.5ポイント40行程度で、2枚程度）、推薦書または意見を求め得る方2名の氏名と連絡先
応募締切 平成15年9月30日（必着）
送付先/照会先 〒739-0321 広島県広島市安芸区中野 6-20-1 広島国際学院大学情報学部設置準備室 高桑誠明
E-mail:takakuwa@elec.hkg.ac.jp Tel(082)820-2605 Fax(082)820-2590 「情報デザイン学科教員募集書類」と朱書き簡易書留
その他 選考方法：第1次選考－書類審査、第2次選考－面接、模擬講義

■電気通信大学総合情報処理センター

募集人員 助手 1名
専門分野 コンピュータシステムおよびコンピュータネットワーク、特にそれらの管理運用
担当 センターシステムの管理運用と学内基幹LAN、対外ネットワーク接続の管理運用、それらに関する将来計画の策定とそのために必要な研究開発
応募資格 博士の学位を有するか近々取得の見込みがあること、年齢は35歳以下が望ましい。ただし、いずれも必ずしも必要条件とはしない
着任時期 平成16年1月1日以降の早い時期（任用期間については総務課人事係へお問い合わせください）
提出書類 履歴書、研究略歴、コンピュータシステムおよびネットワークの管理運用に関する経験略歴、業績リスト（査読付き学術雑誌論文（採録決定、掲載予定を含む）、査読付き国際会議論文（発表予定を含む）、国内会議論文（発表予定を含む）、著書、翻訳などの項目別に）、博士論文の題名と内容概要（1000字程度、博士の学位を取得見込みの方は予定で結構です）、主要論文別刷（5編以内、コピー可、各3部）、着任後の総合情報処理センターにおける活動に関する抱負（1000字程度）、応募者についての参考意見を求め得る方2名の氏名・連絡先、博士の学位を取得見込みの方は指導教官の推薦書1通
応募締切 平成15年9月30日（消印有効）
送付先 〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学総務課人事係 Tel(0424)43-5021
「総合情報処理センター教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *提出書類は返却いたしませんのであらかじめご了承ください
照会先 総合情報処理センター教員選考委員会 委員長（総合情報処理センター長） 尾内理紀夫 E-mail:onai@cs.uec.ac.jp
その他 書類選考の後、必要に応じて面接を行います

■東海大学電子情報学部情報メディア学科

募集人員 助教授または講師 2名
 専門分野 (1) マルチメディア (音響・音声メディアなど) (2) ソフトウェア (情報処理システムなど)
 担当科目 音響・音声メディア論, 情報処理システム, データ解析・実習, ウェブパブリッシング, プログラミング技法, コンピュータアーキテクチャなど
 応募資格 博士の学位を有し, 教育・研究活動に強い情熱をお持ちで, 37歳程度までの方
 着任時期 平成16年4月1日
 提出書類 履歴書* (氏名・生年月日・学位称号・本務勤務先および職名・現住所・学歴・職歴・学会および社会における活動・賞罰などを記載), 研究業績リスト* (著書, 論文, 学会・学術集会発表 (最近5年), 設計・計画・調査報告, フィールドワーク, 教育・啓発活動などを記載), 著書・論文・学会/学術集会発表・調査報告書などの別刷 (コピー可), 応募の動機・本学での教育/研究への抱負* (1500字程度), 推薦をさせていただける方の氏名・所属先・連絡先・ご関係 * A4サイズワープロ打ち
 応募締切 平成15年10月4日 (必着)
 送付先/照会先 〒259-1292 神奈川県平塚市北金目1117 東海大学電子情報学部情報メディア学科 主任 大原茂之
 E-mail:ohara@tokai.ac.jp Tel(0463)58-1211 Fax(0463)50-2412
 その他 書類選考後に面接を行う

■九州工業大学工学部

募集人員 助教授または講師 1名
 所属 数理情報基礎講座
 専門分野 情報科学 (工学部1,2年の情報共通科目を担当)
 応募資格 博士の学位を有し, 35歳程度までの方
 着任時期 平成16年4月1日までのできるだけ早い時期
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 研究業績別刷, 情報処理関連の教育実績あるいは能力に関する説明と着任後の情報教育に対する抱負, など
 応募締切 平成15年10月10日 (必着)
 送付先/照会先 〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1 九州工業大学工学部数理情報基礎講座 主任 金元敏明
 E-mail:koubo2003@mns.kyutech.ac.jp

■武蔵工業大学工学部コンピュータ・メディア工学科

募集人員 教授または助教授 1名
 専門分野 ソフトウェア分野 (ソフトウェア工学, ソフトウェアシステム, Webデータベースと情報コンテンツ, 情報セキュリティなど)
 担当科目 プログラミング関連科目, ソフトウェア工学, オペレーティングシステムなど
 応募資格 博士の学位を有し, 学部および大学院の学生の論文指導ができる方
 着任時期 平成16年4月1日以降のなるべく早い日
 提出書類 履歴書 (市販の用紙でよい), 業績リスト (学術誌掲載論文, 国際会議論文, 著書, 特許, 資料など. 共著の場合は記載順の全員の名前), 主要論文別刷 (5編以内, 各1部, コピー可), これまでの研究・教育歴の概要と着任後の抱負 (1500字程度)
 応募締切 平成15年10月10日 (必着)
 送付先/照会先 〒158-8557 東京都世田谷区玉堤1-28-1 武蔵工業大学工学部コンピュータ・メディア工学科 主任教授 小杉 信
 E-mail:kosugi@cs.musashi-tech.ac.jp Tel(03)3703-3111 (ext.3719) Fax(03)5707-2149 <http://www.musashi-tech.ac.jp/>
 その他 選考方法: 書類選考および面接, 模擬授業をさせていただきます

■横浜国立大学大学院環境情報研究院人工環境と情報部門

募集人員 助教授または講師 1名
 専門分野 画像処理理論, 視覚情報処理, 3次元解析, 医用画像解析
 教育分野 環境情報学府・情報メディア環境学専攻 (3次元画像解析論, 時空間画像処理) 工学部 (CG, 図形科学, 情報科学に関する基礎科目)
 応募資格 博士の学位を有するか着任までに取得見込みの方, 年齢40歳くらいまでで教育研究に情熱と熱意を有する方
 着任時期 平成16年4月1日
 提出書類 履歴書 (市販の用紙に本人直筆), 研究業績リスト (学術誌掲載論文, 国際会議講演論文, 国内講演発表, 著書, 特許, 資料に分類し, 共著者のあるときはその全員を記入のことに), 主要論文別刷 (5編程度, コピー可), 現在までの研究・活動の概要と採用後の研究・教育に関する抱負 (1000字以内), 推薦書2通 (または, 推薦書1通と推薦者以外で応募者に関する参考意見を伺える方1名の氏名と連絡先)
 応募締切 平成15年10月10日 (必着)
 送付先/照会先 〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-7 横浜国立大学大学院環境情報研究院 教授 後藤敏行
 E-mail:togoto@sci.ynu.ac.jp Tel/Fax(045)339-4193 「応募書類在中」と朱書き簡易書留 *提出書類は返却いたしません
 その他 <http://www.eis.ynu.ac.jp/index.html> も参照ください

■東洋大学工学部情報工学科

募集人員 教授または助教授 1名
 専門分野 知能ロボティクス(知能ロボット, 感覚行動システム, デジタルヒューマンモデルなど)
 応募資格 博士の学位を有し, 研究と教育に意欲のある50歳以下の方
 着任時期 平成16年4月1日
 提出書類 履歴書(学歴, 職歴), 研究業績リスト(主要な業績3点に○印をつけること), 発表論文別刷(コピー可), 研究と教育に関する抱負(2000字程度)
 応募締切 平成15年10月15日(必着)
 送付先/照会先 〒350-8585 埼玉県川越市鯨井中野台2100 東洋大学工学部情報工学科 主任 伊東克能 E-mail: itok@cs.toyo.ac.jp
 Tel(049)239-1434 Fax(049)233-9788 * 応募書類は返却いたしません

■福井大学工学部知能システム工学科

募集人員 教授 1名
 所属 知能処理講座, あるいは支援システム講座
 専門分野 ロボティクス, 知能センシング, 認知科学, 創発システム, システム制御, 人工知能, 知的システム, 適応学習システム, 進化システム, マルチエージェント, 生体情報など知能システムに関連する分野
 応募資格 博士の学位を有し, 博士前期課程, 博士後期課程での指導を担当できる方. 国籍は特に問わないが, 教育・研究に意欲のある方
 着任時期 可能な限り早い時期
 提出書類 履歴書, 研究業績, 研究論文別刷(コピー可), 過去の研究内容および教育内容(なければ大学教育についての意見など), 今後の教育・研究に対する抱負(2000字以内), 参考となる意見を伺える方2名の氏名と連絡先・可能ならば推薦書
 応募締切 平成15年10月15日 *ただし, 応募期限以前に適時選考を進め決定することがある
 送付先/照会先 〒910-8507 福井県福井市文京3-9-1 福井大学工学部知能システム工学科 学科長 荒木哲郎
 E-mail:araki@human.his.fukui-u.ac.jp Tel(0776)27-8571 Fax(0776)27-8420

■福岡工業大学情報工学部システムマネジメント学科

募集人員 教授, 助教授または講師 1名
 専門分野 システム工学, 情報工学または関連分野で, コンピュータネットワークに詳しく, e-Businessの研究に関心のある方
 担当科目 システムマネジメント基礎(システムマネジメント基礎, 情報処理, 情報システム論, 生産管理論)
 応募資格 博士の学位を有し, 教育経験のある, 大学院を担当可能な方. 専門分野のうち特に学科目に関連ある課題についての研究業績のある方. 50歳未満の方が望ましい
 着任時期 平成16年4月1日
 提出書類 履歴書(学歴, 職歴, 学会および社会における活動など), 研究業績リスト(著・訳書, 論文, 総説, 学会発表などに分類して, 著者名をすべて記述すること. また, 査読付き論文とその他の論文を区別すること), 主要論文別刷(5編程度), 教育研究に対する抱負
 応募締切 平成15年10月15日
 送付先 〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1 福岡工業大学 教務課長 重松 亮 Tel(092)606-3131 (ext.2242) Fax(092)606-8923
 「システムマネジメント学科教員応募書類在中」と朱書
 照会先 管理情報工学科 学科長 福田平八郎 E-mail:fukuda@fit.ac.jp Tel(092)606-5893
 その他 管理情報工学科は平成16年4月にシステムマネジメント学科へ名称変更いたします

■慶應義塾大学理工学部・大学院理工学研究科

募集人員 教授または助教授 1名
 所属 学部は管理工学科, 大学院は理工学研究科開放環境科学専攻社会情報システム工学専修
 専門分野 「ソフトウェア工学・情報システム論」管理工学科の科目「ソフトウェア工学」・「アルゴリズム論」・「数値・記号処理」などに加えて, 大学院において専門分野の科目を担当していただきます. さらに, 管理工学および社会情報システム工学分野での応用に関心のある方
 応募資格 博士の学位を有し, 大学院における研究を指導できる方で, 年齢は40歳代が望ましい
 着任時期 平成16年4月1日
 提出書類 履歴書(連絡先(郵便送付先, 電話番号, E-mail)を必ず明記してください), 業績リスト, 主要論文別刷(5編, コピー可), これまでの研究やその他の活動の概要および今後の研究・教育などについての計画と抱負(A4用紙, 1500字程度), 推薦書1通あるいは照会可能な方2名の氏名・所属・連絡先
 応募締切 平成15年10月17日(必着)
 送付先 〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1 慶應義塾大学理工学部管理工学科 主任 篠崎信雄
 「教員応募書類在中」と朱書し書留 *原則として提出書類は返却いたしません
 照会先 E-mail:koubo@ae.keio.ac.jp Fax(045)566-1617
 その他 書類選考を経て, 必要に応じて11月中にプレゼンテーション・面接をさせていただきます

■立命館大学情報理工学部

募集人員	講師（任期制）以下の専門分野ごとに若干名
専門分野（担当科目群）	情報システム分野：1名 情報コミュニケーション分野（ネットワーク技術、ソフトウェア技術、ヒューマンインタフェース技術、コミュニケーション科学）：2名 *いずれも実験・演習科目も担当していただきます
応募資格	本学での教育・研究に熱意を持っている方。博士の学位を有し、専門分野の研究業績がある方。英語もしくは日本語での授業が可能な方。原則として情報理工学部開設時（平成16年4月1日）満35歳以下の方
着任時期	平成16年4月1日
任期	平成16年4月1日～平成21年3月31日
提出書類	応募する専門分野を記載した書類（自由書式、要押印）、履歴書（本人の署名または記名押印、写真は40mm×30mmのものを添付、「学歴」「職歴」「学位」「所属学会」について記入のこと）、研究業績リスト（「著書」「論文」「査読つき会議」「査読なし会議」「特許」「その他（報告書を含む）」の項目に分け、ページ数を入れ、発表年月の古いものから順に並べて記載すること）、教育業績書（教育歴については大学・学部学科、担当科目名称などを記入すること）、主要研究業績（著書または論文、5編以内、コピー・抜刷可）、現在までの研究内容の説明と今後の研究計画の概要および当該研究分野の将来展望について（1500字程度）、教育に対する抱負（500字程度）、応募者について参考意見を伺える方2名の氏名・所属・連絡先ならびに応募者との関係を記した書類 *健康診断書の提出は不要ですが、採用決定までに本学保健センターの健康診断を受けていただく必要があります
応募締切	平成15年10月17日（必着）
送付先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1 立命館大学情報理工学部設置準備事務局情報理工学部設置委員会 事務局 大久保英嗣 「教員応募書類在中」と朱書きし必ず書留 *提出書類は返却いたしませんので、あらかじめご了承ください
照会先	情報理工学部設置準備事務局（担当：田尻、香積、吉田） E-mail:johoriko@st.ritsumei.ac.jp（問合せはメールでお願いします） Tel(077)561-5202（直通） Fax(077)561-5203
その他	給与など：立命館大学給与規程などによります

■一関工業高等専門学校制御情報工学科

募集人員	教授または助教授 1名
専門分野	計算機工学、たとえばハードウェア関連またはソフトウェア工学（担当科目：コンピュータ工学、コンピュータネットワーク、CG、ソフトウェアなど）
応募資格	博士の学位を有し、研究意欲を持ち、学生指導、クラブ活動に理解と情熱のある35～53歳までの方
着任時期	平成16年4月1日
応募締切	平成15年10月31日（必着）
照会先	制御情報工学科 主任 梅内晴成 E-mail:umeuchi@ichinoseki.ac.jp Tel(0191)24-4763 内容の詳細は http://www.ichinoseki.ac.jp/ をご参照願います

■岡山県立大学情報工学部情報通信工学科

募集人員	助手 1名
専門分野	電気・電子・通信・情報系で情報ネットワークに関連する分野（広い意味でとらえてください）
応募資格	博士の学位を有し（取得見込みを含む）、教育・研究に意欲的な、心身ともに健康な方。着任時の年齢が30歳以下の方が望ましい 着任後、総社市またはその周辺に居住すること
着任時期	平成16年4月1日（予定）
提出書類	履歴書、研究業績リスト（学術誌、国際会議録、研究会報告、特許などに分類）、主要論文別刷（3編以下、コピー可）、主要論文の概要および当該分野における貢献（A4用紙1～2枚程度）、今後の教育研究計画（A4用紙1～2枚程度）、応募者についての所見を求め得る方2名以上の氏名と連絡先、その他のセールスポイント（もしあれば）* *たとえば、共同研究・開発プロジェクト、システム開発、講義・講演、実験装置作成、計算機システム管理など
応募締切	平成15年10月31日（必着）
送付先	〒719-1197 岡山県総社市窪木111 岡山県立大学情報工学部長 亀山嘉正 「情報通信工学科助手応募書類在中」と朱書き簡易書留 情報通信工学科長 横田一正 E-mail:yokota@c.oka-pu.ac.jp Tel(0866)94-2001
その他	任期：5年（1回に限り再任することがある。再任の任期は5年） 学科の学生実験・演習で、他の教員と共同で、数テーマを担当していただきます。所属する研究室は通信システム工学研究室です。所属研究室で学部生・大学院生の研究指導をしていただきます。応募の書式は岡山県立大学のWebサイト（ http://www.oka-pu.ac.jp ）よりダウンロードしてください

■九州工業大学情報工学部機械システム工学科

募集人員 教授 1名
 専門分野 生産技術関連分野
 担当科目 機械システムに関連する専門科目および技術者教育、実務教育
 応募資格 博士号取得者であり、大学院の講義・研究指導ができること。また、実務（教育）に十分な経験を有し、技術者教育が可能なこと
 着任時期 決定次第、遅くとも平成16年4月1日
 提出書類 履歴書、取得特許、公表論文一覧、主要論文のコピー（5編）、教育および実務・研究歴、今後の研究計画および教育に関する抱負（各1000字程度）、応募者に関して意見を伺える2名の方のお名前と連絡先
 応募締切 平成15年10月31日
 送付先/照会先 〒820-8502 福岡県飯塚市川津 680-4 九州工業大学情報工学部機械システム工学科 学科長 教授 鈴木 裕
 E-mail:suzuki@mse.kyutech.ac.jp Tel/Fax(0948)29-7903 「応募書類在中」と朱書き書留
 学科 Web ページもご参照ください <http://www.mse.kyutech.ac.jp>

■九州大学大学院システム情報科学研究所情報工学部門

募集人員 助教授 1名
 専門分野 計算機工学/計算機科学の一分野
 社会基盤技術に関する新たな研究分野の開拓に意欲のある方・産学官連携活動に積極的な方を歓迎
 応募締切 平成15年10月31日
 照会先 システム情報科学研究所情報工学部門 櫻井幸一 E-mail:sakurai@csce.kyushu-u.ac.jp Tel(092)642-4051
 その他 詳細は <http://www.isee.kyushu-u.ac.jp/koubo.html>

■九州大学大学院システム情報科学研究所知能システム学部門

募集人員 教授 1名
 専門分野 知能処理、情報認識、メディア情報処理などの知能システム学分野
 着任時期 平成16年4月1日以降のできるだけ早い時期
 応募締切 平成15年10月31日（必着）
 照会先 システム情報科学研究所知能システム学部門 谷口倫一郎 E-mail:rin@is.kyushu-u.ac.jp Tel(092)583-7616
 その他 詳しくは <http://www.is.kyushu-u.ac.jp/> 教官公募へ

■神戸大学工学部情報知能工学科

募集人員 教授 1名
 専門分野 情報・知能科学の数学的基礎理論（数理論理学、計算量理論、離散数学、情報数理、言語理論、設計基礎論など）
 着任時期 平成16年4月1日
 提出書類 履歴書、研究業績、研究に対する抱負、教育業績、教育に対する抱負、照会先3名
 応募締切 平成15年10月31日
 送付先/照会先 〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町 1-1 神戸大学工学部情報知能工学科 学科長 吉村武晃
 E-mail:csyoshi@kobe-u.ac.jp Tel(078)803-6231 Fax(078)803-6390 公募詳細：<http://www.cs.kobe-u.ac.jp/koubo.html>
 「システム数理教授応募書類在中」と朱書き簡易書留

■湘南工科大学工学部システムコミュニケーション工学科

募集人員 助教授または講師 1名
 専門分野 情報科学、計算機科学、情報システム分野（オープンソースを活用した研究経歴があり、情報機器などのハードウェアを扱える方が望ましい）
 担当科目 情報処理演習、電子計算機概論、ネットワーク演習、プログラミング、電気回路、電磁気学、チームプロジェクトラーニングのうち複数科目
 応募資格 博士号取得者。着任時に35歳以下の方が望ましい。今までの研究分野は限定しない。UNIXシステムの管理ができる方。大学院の指導ができることが望ましい。私立大学における基礎教育に理解と熱意のある方
 着任時期 平成16年4月1日
 提出書類 履歴書、研究業績リスト（著書、論文、国際会議論文などに分類）、主要論文別刷（5編、コピー可）、私立大学における基礎教育に対する抱負（1500字以内）、これまでの教育歴と今後の展望（1500字以内）、推薦書1通または照会可能者2名の氏名と連絡先
 応募締切 平成15年10月31日
 送付先 〒251-8511 神奈川県藤沢市辻堂西海岸 1-1-25 湘南工科大学事務局 事務課長 難波洋雄
 「システムコミュニケーション工学科教員応募書類」と朱書き書留
 照会先 事務課長 難波洋雄 E-mail:namba@center.shonan-it.ac.jp Tel(0466)30-0250 Fax(0466)35-2055 または
 システムコミュニケーション工学科長 鯉淵興二 Tel(0466)30-0161
 その他 詳細は http://www.shonan-it.ac.jp/each_science/scsv1/ 参照

■筑波大学電子・情報工学系

募集人員 教授または助教授 3名, 講師 1名
 専門分野 (1) ソフトウェア基盤分野 (2) 計算機システム分野 (3) 知能情報メディア分野
 着任時期 決定後できる限り早い時期
 応募資格 平成15年10月31日(必着)
 照会先 〒305-8573 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学電子・情報工学系 学系長 平井有三
 E-mail:hirai@is.tsukuba.ac.jp Tel(029)853-4969 詳細は <http://www.sie.tsukuba.ac.jp/koubo3.html> 参照

■鶴岡工業高等専門学校制御情報工学科

募集人員 助教授 1名
 専門分野 情報・通信, エレクトロニクス, メカトロニクス, 制御工学分野であれば特に問わないが, 情報処理系の授業が担当できること
 担当予定科目 コンピュータ(ソフトウェア, ハードウェア)基礎, アルゴリズム, マイクロコンピュータ, プログラミング言語(C言語)など
 応募資格 博士の学位を有する方. 高専の教育・研究に熱意があり, 学生指導にも理解のある方. 年齢は35~45歳くらいまで
 着任時期 採用決定後できるだけ早い時期
 提出書類 履歴書(市販のものあるいは同一書式とする. ワープロ可), 研究業績リスト(研究論文, 著書, 学会口頭発表など), 主要論文別刷(4編程度, コピー可, 業績リストに○印を付す), これまでの主な研究歴(企業における研究概要を含む, A4用紙2枚以内), これまでの研究/教育助成金(科研費など)の取得状況(研究テーマ, 研究費など), 「高専における研究・教育」に対する抱負について記したものを(A4用紙1枚程度1000字以内), 応募者について照会可能な方2名の氏名と連絡先
 応募資格 平成15年10月31日(必着)
 送付先 〒997-8511 山形県鶴岡市大字井岡字沢田104 鶴岡工業高等専門学校庶務課 人事係長 高橋博之
 E-mail:takahashih@tsuruoka-nct.ac.jp Tel(0235)25-9015 Fax(0235)24-1840
 「制御情報工学科教官応募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は原則として返却いたしません
 照会先 制御情報工学科長 宮崎孝雄 E-mail:tmiyazak@tsuruoka-nct.ac.jp Tel(0235)25-9062 Fax(0235)24-1840
 その他 本校情報については, Web サイト (<http://www.tsuruoka-nct.ac.jp>) でもご覧いただけます

■東京電機大学情報環境学部情報環境工学科

募集人員 助手 1名(任期最長5年)
 職務内容 次の分野の演習・実習を担当: データベース, JAVA プログラミングなど
 応募資格 着任時に博士の学位を有し, 職務内容に関連する分野で研究実績がある方, 年齢は30歳以下が望ましい
 着任時期 平成16年4月1日
 提出書類 履歴書(形式は自由), 業績リスト, 現在までの研究概要と主要論文のコピー, 応募者について所見を求め得る方1名の連絡先
 応募資格 平成15年10月31日(必着)
 送付先/照会先 〒270-1382 千葉県印西市武西学園台2-1200 東京電機大学情報環境学部情報環境工学科 学科長 笠原 宏
 E-mail:kasahara@sie.dendai.ac.jp Tel(0476)46-8481 Fax(0476)46-8449 郵送の場合は「助手応募書類在中」と明記し書留
 *応募書類は返却いたしません
 その他 選考方法: 書類審査と面接により選考

■東京農工大学工学部情報コミュニケーション工学科

募集人員 助教授 1名
 所属 情報工学講座(大講座制)
 専門分野 ソフトウェア設計・開発, オブジェクト指向設計, データ工学, データマイニング, システムセキュリティ, ユビキタスコンピューティング, その他ソフトウェア一般
 担当科目 ソフトウェア工学, オブジェクト指向プログラミング, データベース工学, 暗号理論など(ただし, これらは例示であり, 具体的な科目は相談の上で決定します. その他, 全教員で担当する実験・演習科目があります)
 応募資格 博士の学位を有し, コンピュータサイエンスにおける研究業績があること
 着任時期 平成16年4月1日以前
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷(5編程度, コピー可), 現在までの研究歴と研究業績の概要(2000字程度), これからの教育と研究の抱負(2000字程度), 応募者について所見を求め得る方2名の氏名と連絡先
 応募資格 平成15年10月31日(ただし, これ以降でも, 候補者が決定するまでは, 随時受け付けます)
 送付先/照会先 〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16 東京農工大学工学部情報コミュニケーション工学科 中森眞理雄
 E-mail:nakamori@cc.tuat.ac.jp Tel/Fax(042)388-7140 簡易書留にて郵送のこと

■日本工業大学工学部情報工学科

募集人員 教授または助教授 1名
 専門分野 ソフトウェア工学
 担当科目 ソフトウェア工学, データベースと関連科目およびプログラム開発関係の実験実習
 応募資格 当該専門分野に研究業績があり, 博士の学位を有し, 教育・研究に熱意のある着任時 50 歳以下の方. 教授にあつては, さらに大学の講義, 研究指導を担当できる研究業績を有する方
 着任時期 平成 16 年 4 月 1 日 (予定)
 提出書類 履歴書, 教育研究業績リスト (著書, 学術論文, 国際会議発表論文, その他の論文, 口頭発表, 教育業績の順に記述してください. また, それぞれ年次の新しいものから順に記述してください), 主要論文別刷 (コピー可), 主要業績を説明する資料, 今後の教育・研究に対する抱負 (それぞれ A4 用紙で 2 枚程度), 応募者への推薦書または人物紹介状
 応募締切 平成 15 年 10 月 31 日 (必着)
 送付先/照会先 〒 345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1 日本工業大学工学部情報工学科 主任 樺澤康夫
 E-mail:kabasawa@nit.ac.jp Tel(0480)33-7679 Fax(0480)33-7461 「情報工学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留
 *原則として, 応募書類は返却いたしません
 その他 選考方法: 第 1 次-書類選考, 第 2 次-教育・研究に関するプレゼンテーションおよび面接による

■広島市立大学情報科学部情報機械システム工学科

募集人員 (a) 教授 1 名 (b) 教授 1 名
 所属 (a) 情報機械素子講座 (b) 設計工学講座
 専門分野 (a) 情報通信エレクトロニクス, 電子回路網, 信号処理, 通信方式, 情報伝送など
 (b) 回路設計, 論理設計, 集積システム設計, 計算機システム設計など
 応募資格 博士の学位を有し, 大学院博士後期課程の研究指導ができる方
 応募締切 平成 15 年 10 月 31 日
 照会先 広島市立大学情報科学部情報機械システム工学科 学科長 樋脇 治 E-mail:hiwaki@im.hiroshima-cu.ac.jp Tel(082)830-1604
 その他 公募詳細: <http://www.hiroshima-cu.ac.jp/japanese/kyouinkoubou20030623/> 参照

■中部大学工学部電子情報工学科 (現 電子工学科を平成 16 年 4 月より科名変更)

募集人員 助教授または講師 1 名
 所属 工学部電子工学科
 専門分野 情報通信 (コンピュータ制御, 通信ネットワーク, 次世代インターネット)
 担当科目 論理設計, プログラミング言語, デジタル信号処理
 応募資格 博士の学位を有し, 大学院前期課程の担当が可能なる方 (30 歳代が望ましい)
 着任時期 平成 16 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷 (5 編程度, コピー可), 現在までの研究概要と将来の抱負 (800 字程度), 所見を得る方 2 名の氏名および連絡先
 応募締切 平成 15 年 11 月 1 日 (必着)
 送付先/照会先 〒 487-8501 愛知県春日井市松本町 1200 中部大学工学部電子工学科 主任 脇田紘一 E-mail:wakita@solan.chubu.ac.jp
 Tel(0568)51-9281 Fax(0568)51-1478 「教員公募書類在中」と朱書き書留 *応募資料は返却いたしません
 その他 選考にあたって書類審査後, 面接を行うことがあります

■理化学研究所

募集人員 独立主幹研究員 2 名程度
 募集分野 新領域開拓分野または異分野有望分野を始めとして物理学, 化学, 生物科学, 医科学または工学の科学技術分野で, 理化学研究所での実施可能な研究
 応募資格 平成 16 年度 4 月 1 日現在 40 歳未満で自然科学の号取得後, 3 年以上研究経験を有する方
 着任時期 平成 16 年度 4 月 1 日
 応募方法 応募意向のある方は, 平成 15 年 11 月 7 日までに募集要項をご請求ください. 氏名, 送付先住所, 電話番号, 送付部数を E-mail か Fax でお知らせください
 応募締切 平成 15 年 11 月 13 日 17:00 (必着)
 照会先 〒 351-0198 埼玉県和光市広沢 2-1 理化学研究所研究調整部研究交流課 独立主幹研究員担当
 E-mail:dokuritsu@postman.riken.go.jp Fax(048)462-4714 <http://www.riken.go.jp>
 その他 本件は政府予算の認可を前提としております

■岩手県立大学ソフトウェア情報学部およびソフトウェア情報学研究科

募集人員	(a), (b) ともに, 助教授または講師 1名
所 属	(a) 言語情報学講座 (b) ヒューマンインタフェース学講座
専門分野	(a) 情報セキュリティを中心とする, さらにネットワーク技術について専門とすることが望ましい (b) 画像認識などの文書・画像・映像情報処理分野 (認知科学, ヒューマンインタフェースなどに興味がある方が望ましい)
担当科目	(a) セキュリティ論, 情報学基礎 B, 専門英語 I ~ III および基盤システムに関する演習などを担当できることが望ましい (b) メディアシステム学, 情報学基礎, 専門英語, ソフトウェア演習, メディアシステム演習, 情報認識特論 (大学院) など
応募資格	(a) 博士の学位を有し, 大学院博士課程の研究教育指導が担当でき, 年齢が 35 歳くらいまでの方 (b) 博士の学位を有し, 大学院の研究指導ができる方
着任時期	(a) 平成 16 年 4 月 1 日までのできるだけ早い時期 (b) 平成 16 年 4 月 1 日 (希望)
提出書類	履歴書 (学歴, 職歴, 学会活動, 受賞歴など), 学位取得証明書, 研究業績リスト (著書, 学術論文, 国際学会発表など), 職務業績内容 (開発ソフトウェア, 特許など), 主要著書・学術論文別刷 (コピー可), 教育に関する業績および見解 (A4 用紙 2 枚程度), 推薦書または照会できる方 2 名の氏名と連絡先
応募締切	(a) 平成 15 年 11 月 14 日 (必着) (b) 平成 15 年 11 月 21 日 (必着)
送 付 先	〒 020-0193 岩手県滝沢村滝沢字菓子 152-52 岩手県立大学ソフトウェア情報学部 学部長 阿部芳彦 (a) は「言語情報学講座助教授または講師募集書類在中」, (b) は「ヒューマンインタフェース学講座応募書類」と朱書き簡易書留か宅配便 *応募書類は返却いたしません
照 会 先	E-mail:softjimu@soft.iwate-pu.ac.jp Tel(019)694-2500 Fax (019)694-2501 http://www.iwate-pu.ac.jp/
そ の 他	書類選考の後, 面接を行います

■新潟大学総合情報処理センター

募集人員	助教授または講師 1名
専門分野	情報ネットワーク, 情報セキュリティ, 計算機システム
応募資格	上記分野で研究業績, および管理運用実績を有し, 当センターの計算機システム/計算機ネットワーク (学内 LAN を含む) の管理運用, 情報セキュリティ管理業務, および一般情報処理教育に熱意がある 40 歳未満の方. 博士の学位を有し, 今後, 上記分野で研究を進め, 大学院学生の研究指導ができること
着任時期	採用決定後, 平成 15 年度末までのできるだけ早い時期 *なお, 業績/実績, 年齢により助教授として任用するか講師として任用するかを判断する
提出書類	個人調書, 教育研究業績書, 論文別刷各 1 部, 研究概要 (A4 用紙 1 枚で 1200 字程度), 推薦書 (A4 用紙 1 枚・なくても可), 計算機システム/計算機ネットワークの管理運用, 情報セキュリティ管理業務に関する実績と抱負 (A4 用紙 1 枚で 1200 字程度) *個人調書, 研究業績リストは書式が決まっていますので, http://www.cc.niigata-u.ac.jp/ からダウンロードしてお使いください
応募締切	平成 15 年 11 月 14 日 (必着)
送 付 先	〒 950-2181 新潟県新潟市五十嵐 2 の町 8050 新潟大学総合情報処理センター 教員選考委員会委員長
照 会 先	教員選考委員会 委員長 宮崎正弘 E-mail:miyazaki@ie.niigata-u.ac.jp Tel(025)262-6745 (直通) Fax(025)261-2502

■工学院大学セキュアシステム設計技術者育成ユニット

募集人員	助教授または講師 3名
所属・条件など	本ユニットは文部科学省振興分野人材養成プログラム (科学技術調整費) に基づく, 5 年間の時限であることが加味される。 また, 業績によっては期間中または終了後に通常の専任への転換もあり得る
専門分野	コンピュータ・セキュリティ, コンピュータ・ネットワーク, ソフトウェア・エンジニアリング, オペレーティング・システム, プログラミング言語, データベースなど. 大学院レベルの講義・指導のできる方
応募資格	採用時に 30 歳から 40 歳の間. 実務経験, 博士学位は必須ではないが, どちらかを有することが望ましい
着任時期	平成 15 年 12 月 1 日が望ましい. ユニット存続平成 20 年 3 月 31 日まで
提出書類	履歴書, 業務実績または業績リスト, 主要論文リスト, その他の活動, 本人についての照会可能な方 (2 名以内) の氏名・所属・連絡先
応募締切	平成 15 年 11 月 15 日
送付先/照会先	〒 163-8677 東京都新宿区西新宿 1-24-2 工学院大学大学院情報学専攻 教授 塚本克治 E-mail:tsukamoto@tsukaken.jp Tel(03)3340-3428 Fax(03)3340-0101
そ の 他	書類審査および面接 (場合によってはプレゼンテーション) http://www.kogakuin.ac.jp/jinji/secure_koubo.html

■東京理科大学工学部第一部電気工学科

募集人員 嘱託助手（任期：3年）2名
 専門分野 材料・エレクトロニクス、通信・情報
 担当予定科目 電気工学実験、電気回路演習・電磁気学演習など
 応募資格 博士号取得者または平成16年3月までに取得見込みの方（着任時に学位を取得していること）で、原則として30歳以下
 着任時期 平成16年4月1日
 提出書類 履歴書、研究業績リスト（論文、著書、学会発表など）、主要論文別刷（コピー可）、現在までの研究概要（1000字程度）、志望動機および抱負（1000字程度）、推薦書
 応募締切 平成15年11月15日（必着）
 送付先／照会先 〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3 東京理科大学工学部第一部電気工学科 半谷精一郎 E-mail:head@ee.kagu.tus.ac.jp
 Tel(03)3260-4271 (ext.3324) Fax(03)5261-4805 「応募書類在中」と明記し簡易書留 *提出書類は返却いたしません

■千葉大学工学部情報画像工学科

募集人員 教授 1名
 所 属 基礎情報工学講座
 専門分野 情報ネットワーク、分散処理、データ工学、ソフトウェア工学、計算機言語など
 応募資格 学位を有し、博士後期課程の担当ができる方
 着任時期 できるだけ早い時期
 提出書類 推薦書、履歴書、業績リスト、主要論文別刷、研究・教育の抱負（1000字以内）
 応募締切 平成15年11月30日
 送付先／照会先 〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学工学部情報画像工学科 伊藤秀男 E-mail:h.ito@faculty.chiba-u.jp
 Tel (043) 290-3253 Fax (043) 290-3269

◆各種問合せ先 (社) 情報処理学会(本部) ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
 〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F
 Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	項目
総務	somu@ipsj.or.jp	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
会員	mem@ipsj.or.jp	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証
経理	keiri@ipsj.or.jp	出納
システム企画	sys@ipsj.or.jp	システム企画、電子化委員会
調査研究	sig@ipsj.or.jp	研究会登録、研究発表会、シンポジウム
事業	jigyo@ipsj.or.jp	全国大会、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム
国際	intl@ipsj.or.jp	国際会議、IFIP委員会
図書	tosho@ipsj.or.jp	出版物購入
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版
論文誌	editt@ipsj.or.jp	情報処理学会論文誌
規格部 (情報規格調査会)	standards@itscj.ipsj.or.jp	標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel(03)3431-2808 Fax(03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

おひいすらん

今年の夏は10年来の冷夏ということでしたが、皆様は体調など崩されませんでしたか。私はお陰様で、服装の選択に戸惑う日々はあったものの、思いもよらぬ暑い数日間を実家で過ごせました。

というのは、幼少時期を過ごした地域の高校が甲子園に初出場、おまけにPTA会長が中学の同級生だったのです。試合前の数日から試合終了のサイレンが鳴るまでの間といったら、それはワクワクドキドキで新鮮な日々でした。結果は残念ながら初戦敗退でしたが、40数年ぶりの同級生との再会は、一瞬にして10代にタイムスリップしてしまい、冷夏でのホットな出来事に感謝、感謝でした。

話は変わりますが、先日バイクに乗った白ずくめのヒーローがテレビ画面に映り、思わず挿入歌を口ずさんでしまいました。多分放映当時はテレビに釘付けだったのではと想像がつかます。現在のCGを駆使した映像は、技術の進歩を追求・研究された方々のお陰と実感するとともに、会員としてご登録いただいている方が中にはおられるのではと考えますと感慨無量です。

21世紀の技術革新、どの分野のどんなものが革新されるのか非常に楽しみであるとともに、当会の活動がそれらの発端であることを祈願しつつ、日々の業務に勤しむ所存です。
 (戸田陽子/会員サービス部門)

組込みソフトウェアシンポジウム 2003 (ESS2003) 参加募集

<http://www.seto.nanzan-u.ac.jp/~watanabe/ess03/>

日程:2003年10月16日(木)~17日(金), 会場:機械振興会館 <http://www.jspmi.or.jp/kaikan.htm>

主催:情報処理学会ソフトウェア工学研究会

協賛:電子情報通信学会ソフトウェアサイエンス研究会、知能ソフトウェア工学研究会、情報サービス産業協会、日本ソフトウェア科学会(予定)

組込み・ユビキタスソフトウェアの開発をテーマに組込みソフトウェアシンポジウムを開催します。多数の皆様参加をお待ちしています。詳細はWebページをご覧ください。参加費:研究会会員:14,000円, 情報処理学会会員:17,000円, 非会員:20,000円, 学生5,000円

日程/会場	ホール	研修1	研修2	B3-2
16日	10:00-10:50	基調講演:菊野 亨(阪大)		
	11:00-12:00	管理事例:品質管理と開発現場の改革・改善 講師調整中	技術事例:実践 MDA:荒井 玲子(三菱情報システム), 佐藤 洋介(デンソー)	一般講演(1)
	13:30-15:50		チュートリアル:プロダクトライン, 今関 剛(豆蔵)	一般講演(2)
	15:20-17:00		パネル:組込みソフトウェア開発技術, 青木 利晃(JAIST)	事例発表
17日	10:00-10:50	基調講演:重松 崇(トヨタ自動車)		
	11:00-12:00	チュートリアル:組込み開発の技術管理 MOT 野中 誠(東洋大)	チュートリアル:検証, 中島 震(法政大)	一般講演(3)
	13:30-15:00	ワークショップ:組込みソフトウェア開発技術の 体系化:渡辺 晴美(南山大)	ワークショップ:組込みシステム開発技術教育へ UML ロボコンの経験から, 二上 貴夫(東陽テクニカ)	一般講演(4)
	15:20-17:00	パネル:組込みソフトウェア研究・開発のリエ ンジニアリングを目指して:平山 雅之(東芝)		

有
料
会
告

科学技術系専門職の男女共同参画実態調査 ご協力をお願い

男女共同参画学協会連絡会は昨年10月に結成され、理工系学協会の連携により男女共同参画をすすめるための活動をしています。本アンケートは、文部科学省生涯学習政策局の委託のもとに、参加学協会の会員を対象として、科学技術系専門職の方々の男女共同参画に関する調査を行うことが目的です。さまざまな専門分野の技術者・研究者の方々の実態や意識に関するデータは、各学協会の男女共同参画をすすめる、行政施策への提言をするための重要な基礎データとなります。結果は統計資料として連絡会の提言とともに公表いたします。みなさまのご協力をお願いいたします。

なお、本アンケートは科学技術関係者のおかれている現状を把握するためのものであり、個人の特定は一切いたしません。また、目的外の使用もいたしません。

男女共同参画学協会連絡会委員長 小館 香椎子

◇正式加盟学会 (2003年7月28日現在)

応用物理学会 (会長 後藤 俊夫)	化学工学会 (会長 渡辺 英二)
高分子学会 (会長 遠藤 剛)	日本宇宙生物科学会 (会長 浅島 誠)
日本化学会 (会長 瀬谷 博道)	日本原子力学会 (会長 齋藤 伸三)
日本植物生理学会 (会長 佐藤 公行)	日本数学会 (会長 森田 康夫)
日本生化学会 (会長 村松 喬)	日本生物物理学会 (会長 柳田 敏雄)
日本蛋白質科学会 (会長 三浦 謹一郎)	日本生理学会 (会長 金子 章道)
日本天文学会 (会長 松田 卓也)	日本動物学会 (会長 浅島 誠)
日本比較内分泌学会 (会長 菊山 榮)	日本物理学会 (会長 北原 和夫)
日本分子生物学会 (会長 山本 正幸)	日本女性科学者の会 (会長 佐々木 政子)
日本発生生物学会 (会長 浅島 誠)	日本細胞生物学会 (会長 永田 和宏)

◇アンケート協力オブザーバ加盟学会 (2003年7月28日現在)

映像情報メディア学会 (会長 中村 慶久)	地盤工学会 (会長 足立 紀尚)
電気化学会 (会長 藤嶋 昭)	電子情報通信学会 (会長 伊賀 健一)
日本応用磁気学会 (会長 荒井 賢一)	情報処理学会 (会長 益田 隆司)
地球電磁気・地球惑星圏学会 (会長 藤井 良一)	日本建築学会 (会長 秋山 宏)

○アンケート実施期間

2003年8月20日~10月31日

○アンケート実施ならびに回収方法

・Web版: <http://www.realgraph.net/researchers/> をご覧ください。

ご意見をお寄せください！

【10月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)
http://www.ipsj.or.jp/enq/enq4409.html Fax(03)5484-3534 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)

[コード]

1. ご氏名
2. ご所属 Tel. () -
3. E-mail:
4. 業種: (a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4-
5. 職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5-
6. 年齢: (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6-
7. 性別: (a) 男性 (b) 女性 7-
8. あなたはモニタですか?: (a) はい (b) いいえ 8-
9. あなたのご意見は「会員の広場」に掲載される場合があります。その場合:
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 9-
10. 今月号 (2003年9月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。
[a...大変参考になった b...よい c...普通, どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない]

特集: ゲーム情報学

ゲーム情報学の動向.....	10-1-
将棋	10-2-
詰将棋.....	10-3-
囲碁	10-4-
不完全情報ゲーム研究の現状.....	10-5-
パズル.....	10-6-
お気軽サッカーを目指して.....	10-7-
自動翻訳から翻訳支援へ, そして.....	10-8-
コンピュータを利用した心理・教育テストの動向	10-9-
ITルネサンスのために: ヒューマンインタフェースの復権を: 死の谷を越えて.....	10-10-
長距離高速通信のための TCP 性能改善技術の動向.....	10-11-
プログラム・ブロムナード: 円の集まりをロープで囲む	10-12-
情報技術と教育: ITは法隆寺か仁徳天皇陵か?	10-13-
とっきょ Now!: 特許審査基準の改訂	10-14-
日本の情報処理技術の足跡: 日本のコンピュータ・メーカーと7人の小人 (2).....	10-15-
モバイルは今: rsync によるファイル同期	10-16-
20世紀の名著名論: Stuart K. Card, Thomas P. Monran, Allen Newell: The Psychology of Human-Computer Interaction	10-17-
20世紀の名著名論: M. Weiser: The Computer for the Twenty-First Century.....	10-18-
日本のIT事情: 個人情報からなる巨大ヴァーチャル・タイムマシンについて	10-19-
アメリカITまわりの話題: シリコンバレーの日本人コミュニティ	10-20-

11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。

12. 著者への質問・今後取り上げて欲しいテーマ・また「道しるべ」に取り上げてほしいテーマなどありましたらお書きください。

ゲーム情報学とのかかわりの個人的な歴史を述べることをお許し
 いただきたい。最初にゲームの研究にかかわったのは20年以上も前
 の大学生のときであった。当時の出身学科には卒業論文はなく、代
 わりにある程度の大きさのソフトを作成することになっていた。そ
 のときに詰将棋を解くプログラムを書いたのがこの世界に足を踏み
 入れるきっかけとなった。チェスを中心に外国ではゲームの研究が
 盛り上がっていたものの、その頃の日本はとてゲームを情報処理
 の研究対象とする雰囲気はなかった。「日本ではなぜゲーム研究が疎
 外されてきたか」(松原・竹内編、「ゲーム・プログラミング」共立出版、
 1997)に詳しく書いているので、興味のある方はお読みいただき
 たい。その後はおとなしく(?)人工知能の他領域の研究にかかわ
 ってきたが、ゲームへの思いは断ちがたく、十数年前に機械学習の例
 題として恐る恐る詰将棋を取り上げた。職場(電総研:現在の産総研)

は理解のある人が多く、幸いにも受け入れてもらえたため、ゲーム
 を例題からメインテーマに格上げし、1996年にはゲーム戦略ラボ(略
 すとゲーセンラボである!)という研究グループを立ち上げて十数
 名で将棋、囲碁、ブリッジ、サッカーなどの研究を実施した。個人
 的にはそういう経過をたどって1998年のゲーム情報学研究会の設立
 を迎えたのである。

編集にあたってにも書いたように、ゲームは情報処理の非常に優
 れた研究対象である。チェスが研究対象としてのピークを過ぎた(コ
 ンピュータが世界チャンピオンに勝った)こともあって、また将棋
 や囲碁というゲームを抱えていることもあって(ロボカップも始め
 たこともあって)、今は日本がゲーム情報学の研究の中心になりつつ
 ある。最先端の現場の熱気を感じていただければ幸いです。

(松原 仁/本特集エディタ)

次号(10月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」 自然言語処理の高度化による知的生産性の向上

知の共創のための自然言語処理技術/企業における異言語文書の活用促進事例/企業における情報共有の促進事例/企業にお
 ける非定形文書の活用促進事例/企業におけるマーケティング分野でのテキスト活用事例/次世代の企業間協業・連携への支
 援事例/自然言語処理技術の高度化はいかにして組織の競争力を生み出すのか?

解説

- コンピュータでことばを表現する-対話を表現する言語 VoiceXML 荒木雅弘
- アドホックネットワークが開く新しい世界(前編) 小菅昌克 他
- アジャイルなソフトウェア開発におけるモデリング 藤井 拓

連載 とっきよ Now! /日本の情報処理技術の足跡/プログラム・プロムナード

コラム アメリカ ITまわりの話題/情報技術と教育/20世紀の名著名論/日本のIT事情/モバイルは今

会員募集中!!

**ITの最新情報, 研究発表の場の提供を通じて,
 あなたのお役に立ちます。**

詳しくはWebサイト <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

申込/照会先 社団法人 情報処理学会

〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F

Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534 E-mail:mem@ipsj.or.jp



複写される方に

☐ <学術著作権協会依頼>

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接当学会へご連絡ください。

〒170-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル

学術著作権協会

E-mail:naka-atsu@mju.biglobe.ne.jp

Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

ただし、アメリカ合衆国における複写については、右記の In the USA に記載の所へご照会ください。

Notice about Photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization, which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.

Except in the USA

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)
 6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo
 107-0052, Japan
 E-mail:naka-atsu@mju.biglobe.ne.jp
 Tel: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

In the USA

Copyright Clearance Center, Inc. (CCC)
 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA
 Phone: (978)750-8400 Fax: (978)750-4744
<http://www.copyright.com>

掲載広告カタログ・資料請求用紙

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、必要事項をご記入の上、E-mail:sei@ss-com.co.jp または Fax.03-3368-1519 へご請求ください。

「情報処理」 月号をみて

広告主名	製品名	希望項目 [※]	その他要望事項

※希望項目：A 購入希望、B 担当者から連絡・訪問希望、C カタログ希望

フリガナ
お名前

勤務先

所属部署

所在地

(〒 -)

TEL ()

-

FAX ()

-

ご専門の分野

広告のお問合せ・お申込みは・・・広告総代理店（株）精機通信社へ

発行 社団法人 情報処理学会
 発行部数 30,000 部
 体裁 A4 判
 発行日 毎当月 15 日
 申込締切 前月 10 日
 原稿締切 前月 20 日
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム
 原稿寸法 1 頁 天地 260mm × 左右 180mm
 1/2 頁 天地 125mm × 左右 180mm
 雑誌寸法 天地 297mm × 左右 210mm

お問合せ・お申込みは
 広告総代理店
（株）精機通信社 Tel.03-3367-0571
 〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-16-13
 Fax.03-3368-1519 E-mail: sei@ss-com.co.jp

■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	330,000	—	—
表 3	275,000	—	—
表 4	385,000	—	—
表 2 対向	300,000	—	—
表 3 対向	265,000	190,000	155,000
前付 1 頁	250,000	165,000	135,000
前付 1/2 頁	—	—	80,000
前付最終	—	—	148,000
目次前	—	—	148,000
差込 (A4 判 70.5kg 未満 1 枚)	275,000		
差込 (A4 判 70.5kg ~ 86.5kg 1 枚)	350,000		

* 上記料金はポジフィルム納入による料金です。
 * 版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。
 * 断切広告は上記料金の 10% 増です。ただし、表 4 は不可。
 * 上記料金には消費税は含まれておりません。